

市民の願い実現に奮闘

日本共産党 4議席



市議会議員
いぬい 紳一郎



市議会議員
小田 桐たかし



市議会議員
徳増きよ子



市議会議員
植田 和子

H26年度決算が審議された9月議会。日本共産党は、市民の願いを一步でも前進させるために奮闘しました。決算委員会では、度々、市民要望に応える課長答弁を副市長が訂正する珍しい場面も…。現場職員と市政トップのギャップが垣間見られました。

介護

利用料2割負担 「どうしたらいいの」と悲鳴が

流山市内で利用料が2割負担になったのは1037人。日本共産党に深刻な相談が寄せられています。

夫が特養ホームに入所しているAさん。施設からの請求が20万円をこえ、自身の生活費は3万円ほどに：「どうやって暮らせというの」と嘆きます。週3回入浴介助を利用していたBさんは、入浴介助をやめました。

流山市内で利用料が2割負担になったのは1037人。日本共産党に深刻な相談が寄せられています。夫が特養ホームに入所しているAさん。施設からの請求が20万円をこえ、自身の生活費は3万円ほどに：「どうやって暮らせというの」と嘆きます。週3回入浴介助を利用していたBさんは、入浴介助をやめました。

日本共産党は利用料減

高額介護等貸付制度とは
月々の利用料負担の上限が設定され、超えた分が数か月後に払い戻されます。その部分を一時的に立て替えるために貸し付ける制度。

「払いたくても払えない」国保料 今、引き上げるべきではありません

年金生活者など所得の少ない人の加入が多い国保制度への支援として、国は今年から支援金を1700億円（一人当たり5000円）追加。その結果、京都市やいわき市では国保料を引き下げ、全国の自治体でも広がっています。

いっぽう流山市は、国の支援金1億6千万円をひた隠しに。市民には来年度1億4千万円の保険料の値上げを計画しています。こんな自治体はほとんどありません。生活も苦しく、消費税10%の増税も控えている中で、国保料値上げとは許されません。

くらし

急がれる貧困対策 政治の役割が問われています

貧困が社会問題となる中、憲法25条で保障されているにもかかわらず、生活保護では1年8ヶ月で3度にわたり保護費が引き下げとなり、母と子ども4人の家庭では年間31万円も減らされました。近隣市で広がっている非婚のシングルマザーへの支援策（みなし控除）の実施を日本共産党が提案。「みなし控除があれば保育料など負担の軽減ができる」と指摘しました。

貧困対策では「本

「成否を問われれば失敗」

と認め、来年4月から街づくりのルール（地区計画）を導入。パチンコ店やキャバクラ等を規制することにしました。「より良い街づくり」へ情報を共有し、住民、地権者、事業者、行政の共同が欠かせません。

まちづくり

おおたかの森駅周辺の規制強化へ 住民運動が行政を動かす

おおたかの森駅西口へのパチンコ店出店が発覚。住民運動が広がり、議会に陳情が提出されました。

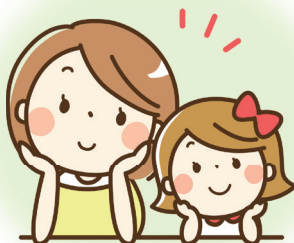
今議会では、「出店断念に向けた交渉はしない」としつつも、「パチンコ店を出店可能にする」制度変更したのは流山市

市役所、消防署の窓ガラス 飛散防止を直ちに

自然災害が各地で猛威を振るう中、常日頃からの減災・防災の充実・改善が欠かせません。

日本共産党は、他党と共同し、学校等の避難所に窓ガラス飛散防止を100%実施させるとともに、今議会では役所や消防署での実施を迫り、「計画的に進める」と約束させました。

また、豪雨災害の常総市にはボランティアを派遣。被災者への支援と被災地の取り組みを学び、流山市政に活かす決意です。



身近な要求実現

セントラルパーク駅
入口交差点に信号機が
いぬい 紳一郎



生徒も喜ぶ
西初石中学校トイレ改修
小田 桐たかし



東部公民館前の
歩道きれいに
徳増きよ子



念願！信号機設置
（江戸川台西三角公園前）
植田 和子

